**内閣府　平成29年度 沖縄型産業中核人材育成事業**

**「IoT機器のセキュリティ評価・検証プロセスを修得する上級エンジニアの育成プログラム」**

**における受講生募集について**

平成29年9月1日

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　一般社団法人

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　重要生活機器連携セキュリティ協議会(CCDS)

**■事業の概要**

本事業は、内閣府からの委託で実施される人材育成事業であり、CCDSが受託事業者として実施するものである。本事業の講習プログラム受講により、IoT領域におけるセキュリティ関連事業の獲得に向けた中核人材となってもらうことが期待されている。

**■人材育成プログラムの目的**

IoT機器のセキュリティを評価・検証するために必要なプロセスや手順を、CCDS IoTセキュリティ評価検証ガイドラインに沿って、セキュリティの検証実行、管理に必要な知識、スキルを教育する事で、より付加価値の高い検証（開発）業務を遂行できる上級エンジニアを育成する。

**■開催概要**

・開催場所：琉球大学 地域創生総合研究棟 １F 産学官交流フロア

・開催予定：2017年11月～12月　※受講希望企業に希望をヒアリングの上、決定

・募集人数：9名～12名　※公募により沖縄県企業より受講生を募集し、実行委員会にて確定

・講習プログラムの内容：別紙の講習プログラム概要を参照

・全日程を履修し、各講習の効果測定で合格したものには内閣府より受講修了証書を発行

**■応募条件・応募方法**

・必須条件：沖縄県在住のエンジニアで、11月～12月に実施する全4回の講習に、全日出席可能で

あること。

・受講に必要なスキルレベル：受講内容を理解できる条件として、以下のスキル要件のいずれかを

満たすこと。

　１）評価・検証業務や開発業務において、ウォーターフォール型の開発プロセスに則った開発あるいは

　　テストに、３年以上従事した実績を有するエンジニア

　２）評価・検証業務や開発業務において、プロジェクトマネージの経験を３件以上有するエンジニア

　３）開発業務あるいは評価・検証業務において、セキュリティ対策あるいはセキュリティ検証に関する

　　従事経験を1件以上有するエンジニア

・応募者が募集人数を超えた場合は、書類選考での評点をもとに受講者を決定する。

※１企業あたりの受講者数を2名程度までとし、なるべく多くの企業に受講いただけるように選考を行う。

・添付別紙の応募シートに必要事項を記入し、CCDS事務局＜ccds-sec@ccds.or.jp＞まで提出する。

・募集期限：2017年9月29日(金)　17:00到着分。

**お問い合わせ：**

**一般社団法人 重要生活機器連携セキュリティ協議会事務局**

　　担当：田久保、小田野

　　〒141-0021　東京都品川区上大崎2－12－1　野田ビル3F

　　TEL：03-6455-7193

　　E-Mail：ccds-sec@ccds.or.jp

応募シート

【１．参加する受講者の方が、ご本人の情報をご記入下さい】

■受講者の方の基本情報

・企業名：(　　　　　　　　　　　　　　　　　　)

・所属：(　　　　　　　　　　　　　　　　　　　)

・氏名: (　　　　　　　　　　　　)

・現在の役割・ポジション：(　　　　　　　　　　　　　　　　　　　)

・これまでの業務実績（応募条件に関係するもののみで結構です）

※受講希望者が多数の場合の選考に影響しますので、募集要項記載の「受講に必要なスキルレベル１）～３）」に該当する案件については、漏れなく記載をお願い致します。

※該当業務に従事した期間が明確になるよう記載をお願いします。

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 対象機器 | 業務種別 | 担当期間 | 担当役割 | 業務概要 | 該当するスキルレベル |
| 例）Webサイト | 評価・検証業務 | 2016/12～2017/04 | リーダー | テスト仕様の策定及び実行  進捗管理、メンバー5名の業務管理等 | ② |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |

【２．参加する受講者の上司の方が、御社としてのご要望を踏まえご記入下さい】

■上司の方からの推薦理由

　役職：(　　　　　　　　　　　　　　)　氏名：(　　　　　　　　　　　　　　　　)

|  |
| --- |
| ・推薦理由を自由記述でご記載下さい。  （選考基準を参考に、アピール事項をご記載下さい） |
|  |

■会社として、受講者に期待する効果（選考基準を参考に、該当する項目をご記載下さい）

|  |  |
| --- | --- |
|  | 開発業務や、評価・検証業務におけるスキルアップを図って欲しい |
|  | 評価・検証エンジニアや開発エンジニアとして、情報セキュリティを含めた幅広い知識を身に着けて欲しい |
|  | IoT機器に対するセキュリティ対策の知識、技術を学び、実際に該当する業務の実行を担当して欲しい |
|  | IoT機器を含むセキュリティ評価・検証を事業として進めていく上で、プロジェクトマネージメントやリーダーシップを取って欲しい |
|  | 新規ビジネスとして、セキュリティ検証に関する事業企画や事業推進を担う管理職を目指して欲しい |

■講習日程に関するアンケート

※受講者個人の要望ではなく、会社業務のご都合と調整の上で、対応可能な日程を全てご記載下さい。

※講習日を確定後、全日程を受講可能かどうか、受講者の方へ確認を行い、受講可能な方のみ合格と

　させていただきます。

・受講可能な講習日程

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 時間 | 開催日 |
|  | 午前中（9:00~12:30） | 1. 週1回、4週に渡り、水曜日開催   ⇒11/8(水)、11/15(水)、11/22(水)、11/29(水) |
|  | 午後（13:00～16:30） |
|  | 午前中（9:00~12:30） | 1. 週1回、4週に渡り、木曜日開催   ⇒11/9(木)、11/16(木)、11/30(木)、12/7(木) |
|  | 午後（13:00～16:30） |
|  | 午前中（9:00~12:30） | 1. 週2回、2週に渡り開催   ⇒11/7(火)～11/8(水)、11/21(火)～11/22(水) |
|  | 午後（13:00～16:30） |
|  | 午前中（9:00~12:30） | D）週1回、4週に渡り、土曜日開催  ⇒11/11(土)、11/18(土)、11/25(土)、12/2(土) |
|  | 午後（13:00～16:30） |
|  | 終日（9:00～17:00） | E）土曜日の終日開催  ⇒11/11(土)、11/25(土) |
|  | 午前中（9:00~12:30） | F）週1回、4週に渡り、日曜日開催  ⇒11/12(日)、11/19(日)、12/3(日)、12/10(日) |
|  | 午後（13:00～16:30） |
|  | 終日（9:00～17:00） | G）日曜日の終日開催  ⇒11/19(日)、12/3(日) |

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　以上

参考資料）選考基準について

応募者多数の場合は、下記のA)～B）の項目に対して評価を行い、下記計算式にて５点満点

で評価を行い、選考を行う。ただし、沖縄県在住者でない場合は失格とする。

判定算出式　X＝ A × 0.6 + B ×0.4

**A）会社が期待する役割/ポジションが研修の効果を配慮したものとなっているか（※１）**

**：ウェイト × 0.6**

　※１：応募シート記載の「推薦理由」及び「会社として、受講者に期待する効果」の内容により、

以下の評点により5点満点で評価

【評点】

　5：会社が期待する役割/ポジションが、研修で期待される効果と完全に一致する

　4：会社が期待する役割/ポジションが、研修で期待される効果とほぼ適合する

　3：会社が期待する役割/ポジションが、研修で期待される効果と半分以上適合する

　1：会社が期待する役割/ポジションが、研修で期待される効果と一部適合する

　0：会社が期待する役割/ポジションが、研修で期待される効果と適合しない

【研修で期待される効果】

・IoT領域におけるセキュリティ関連事業の獲得に向けた中核人材となってもらう。

　－CCDSガイドラインに沿って、より付加価値の高いIoT機器に対するセキュリティ評価・検証業務またはセキュリティ要件に沿った開発業務を実行できる。

－IoT機器に対するセキュリティ評価・検証業務または、セキュリティ要件に沿った開発業務に

おいて、マネージメントやリーダー業務を担当できる。

－セキュリティ評価・検証業務または、セキュリティ要件のビジネス推進に参画できる。

**B）受講生のスキルレベルの充足度（※２）：ウェイト × 0.4**

　※２：募集要項の応募条件に記載された「受講に必要なスキルレベル」に対する充足度を、

下記の評点により5点満点評価（１）～３）の条件未達の場合は失格とする）

【評点】

・１）～３）の条件の充足項目を合計し、５点満点で評価する（最高５点）

　１）評価・検証業務または開発業務において、ウォーターフォール型の開発プロセスに則った開発あるい

　　はテストに、３年以上従事した実績を有するエンジニア

⇒５点

　２）評価・検証業務または開発業務において、プロジェクトマネージの経験を３件以上有するエンジニア

⇒４点

　３）評価・検証業務または評価・検証業務において、セキュリティ対策あるいはセキュリティ検証に関す

　　　る従事経験を1件以上有するエンジニア

⇒１点

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　以上